

ピューリックωの
最新情報を
公開

ピューリックω超純水を用いた測定事例 (全有機体炭素計での評価例)

湿式酸化型TOC計におけるブランク水の評価例

株式会社島津製作所 京都ラボ様にて、ピューリックωの超純水をブランク水(ゼロ水)に用いて TOC 測定の評価を行って頂きました。

分析条件	・分析装置	湿式酸化型 TOC 計 TOC-Vws (島津製作所)
	・分析方法	1L 採水ボトルに入れたピューリックωの超純水を酸性化通気処理による IC 除去法を用いて TOC 測定 (=NPOC 測定) しました。

【参考情報】

- ・第十七改正日本薬局方「2.59 有機体炭素試験法 2. 試薬, 標準液 (i) 有機体炭素の測定に用いる水(測定用水)」標準液又は分解助剤などの調製及び試験器具の最終すすぎなどに用いる水で、その有機体炭素値は、容器に採取して有機体炭素の測定を行うとき、その炭素値が0.250mg/L (=250μgC/L) 以下* のものを用いる。

※USP、EP では 100μgC/L 以下

■ TOC-Vwsで測定したTOC値

- ・サンプル1 : 10.30μgC/L
- ・サンプル2 : 10.13μgC/L

測定結果について

主な用途の1つである局方の測定用水の基準値を大きく下回る値を確認できました。測定結果は大気中の有機物質など採水環境の影響を含んだ値ではありますが、別場所で使用されている他社製超純水装置と同等グレードの水質であり、ピューリックωの超純水がTOC-Vwsのゼロ水として問題なく使用できる事をご確認頂きました。

また超純水装置に搭載されたオンライン式のTOC計での表示値では他社装置が3μgC/Lであったのに対し、ピューリックωは1μgC/Lであり、低TOCの超純水を安定的に製造できるピューリックωの特長が出ていると推測できます。

ピューリックωをご使用頂いて…

他社製超純水装置は採水流量が低・中・高の3段階しか調整できないのに対し、ピューリックωは1滴から最大流量まで5段階を採水ダイヤルで容易に調整できた事が便利であったとご評価頂きました。

これはピューリックωが特殊形状の採水ノズル(弊社特許)により滴下から最大流量までスムーズに採水できる事の効果と言えます。



※ピューリックはオルガノ株式会社の登録商標または商標です。
※記載情報は資料作成当時のものです。

ピューリック 情報ポータルサイト

<https://puric.organo.co.jp/>



LAB SALON
by ORGANO CORPORATION



オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
機能商品事業部 Phone 03-5635-5193

LEA.NO.S-3(9) 24年5月